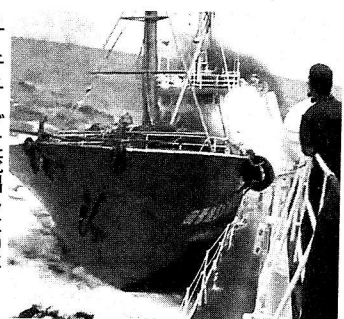


2012.11.29

(第3種郵便物認可)

「本当に右傾化してますか？」と逆に問われ、考え込んだ。日本国内で大規模な反中デモが起きていくわけでもなく、近隣諸国との良好な関係を重視する声は世論調査でも圧倒的に高いではないか、との問題提起だ。はっとした。その声に政治家がいかに応えるかが問われているとの話に強こうなずいた。近隣諸国との関係構

# 自分が望



ユーチープに流出した10年9月の尖閣諸島付近での海上保安庁の巡視艇と中国漁船の衝突を捉えたとみられるビデオ映像

西の過ちを認める談話を発表

## 政党、政治家の真贋見極めよう

旅行作家 清水 武一 (東京都昭島市)

衆院選を前に今回はいつもと違った動きがある。雨後のタケノコのように新党が乱立している。怖いのは、テレビなどのメディアに多く登場した党や人物がより関心を集める傾向があることだ。そこにはパフォーマンズに流されやすい日本社会の危険性がある。

3年前に多くの国民が寄せた民主党への期待。今味わっている政治への絶望を、同党のブームのときに誰が予想できたろうか。これこそ力量不足の政党や政治家が、時流に乗って当選することの怖さである。一方で、決まらない政治への反動で強い政治家を待望する動きもある。大衆迎

合の人気取り政策を掲げている党や候補者もいる。うっかり誘惑に乗らないように気をつけたい。本当に国民生活に直結する政治活動をしてきたのはどの党なのか。我々は今度こそ政党と候補者の真贋を見極めなければならぬ。ムードに乗っけられて再びの禍根を残さないためにも、まさに有権者が問われている選挙である。

## ふんすい塔

心機一転

学生ークラス替え  
議員ークラ替え  
(相模原・万年さん)

## \* みんなの広場

### 民自際だつ差異

もう一つ、両党の理念が大きく異なるのが子育て政策だ。民主党の看板公約で、社会全体での子育てを標ぼうした月2万6000円支給の「子ども手当は、自公政権時代の「児童手当に戻り、支給額は月5000〜1万5000円に。民主党政権の悪評の代名詞となった。

ただ、税と社会保障の一体

### 人とツルが共存できる世界を

無職 久野 茂樹63 (鹿児島県霧島市)

国内最大のツルの越冬地・鹿児島県出水市の出水平野で先日、中学生らによるツル羽数調査があり、1万159羽を確認した。16季連続の「万羽ツル」だという。今年もナベツル、マナヅル、クロツルなどがはるばる飛んできてくれた。ツルがすみやすい自然環境を保ち続ける努力は並大抵ではないだろう。関係諸氏に頭が下がる。

さて、出水市に隣接する薩摩川内市には、福島事故後、全国的に存廃について賛否両論が交わされている原発がある。良好な環境が保全されている平野。片や事あらば放射性物質が外部に漏れだし、究極の環境

肉が少ないぞ